

国際交流基金ブダペスト日本文化センター

日本語講座

片山 恵
Megumi_Katayama@jpf.go.jp

1. 機関概要

名称： [国際交流基金ブダペスト日本文化センター](#)

The Japan Foundation, Budapest (英語表記)

Japán Alapítvány Budapesti Iroda (ハンガリー語表記)

所在地： Aradi u. 8-10, 1062 Budapest, Hungary

電話： +36-1-214-0775/6 Fax: +36-1-214-0778

2. 日本語講座運営の基本方針

2.1 相互理解の日本語の普及

日本語学習によって日本語の使い手を育てるとともに、日本文化への理解を深め、日本のよき理解者を育成する。

2.2 多様な学習機会の提供（学習環境の整備）

おもに一般社会人を対象とし、文化背景や価値観が多様な人が対話や交流を通してともに学ぶ機会を提供するとともに、ゼロ初級から中級まで多様なレベルの学習者に対して学びの機会を提供する。地理的・時間的な制約から日本語学習に興味はあっても学習を開始、継続することができない人も視野に入れ、オンラインの日本語コース開発を進める。

【多様な学習者への対応】

- 対象とする一般成人の通いやすい時間帯（夜間）に実施
- 多様な学習動機、ニーズ、学習スタイル、レベルに対応できるコースを提供
- 対面でもオンラインでも学習者が自由に選択できるハイブリッド授業の実施

【オンライン化】

- オンラインによる授業の実施
- 日本語学習プラットフォーム「[JF にほんご e ラーニングみなと](#)」（以下、「みなと」）で教師サポート付きコース（A1-1 から A2-4 レベル）の開講
- 地理的・時間的な制約から日本語学習に興味はあっても学習を開始することが難しい人を対象としたオンラインコースの開発

2.3 ハンガリーの日本語教育の質的向上

国際交流基金のハンガリーにおける日本語教育の拠点として、講座運営を通して得た知見を、情報

発信したり、教師研修などで還元したりすることで、ハンガリーの日本語教育支援に資する。

3. コース概要

実際の場面で日本語を使ってコミュニケーションできるようにすることを目指す。そのため授業では、Can-do を目標に据えクラスメイトとやりとりをしながら、話す、聞く、書く、読む活動を行う。多くのコースは CEFR または JF 日本語教育スタンダード の考えに基づいて行っている。また、ことばだけではなく文化に触れたり学んだりする機会も提供する。

①「みなと」まるごと教師サポート付きコース (A1-1 から A2-4)

オンライン教材で日本語を自習しながら、定期的にオンラインでブダペスト日本文化センターの日本語講師のグループライブレッスンを受講。自習は「[まるごと日本語オンラインコース](#)」で行なう。

②「みなと」自習コース「DEKIRU A1」「ようこそ！日本語と文化 A1」(A1)

ハンガリー語話者を対象にしたオンライン自習入門コース。ハンガリー語の解説で日本語を学ぶことができる。好きな時に学習を開始することが可能。

③まるごと中級コース (B1)

半期または1年間継続できるコース。[JF 日本語教育スタンダード](#)に準拠した教材を使い、実際の場面でコミュニケーションができるようになることを目指す。

④トピックコース (B1/B2)

年4期(7回/期)開講。各期で異なるテーマを取り上げ、生教材を使用し、日本語や日本についての知識を深める。1期のみの受講、または複数コースの受講も可能。

⑤自律学習コース (A1-B2)

教師のサポートやアドバイスを受けながら、自分で学習の計画をたて、学習の仕方を学び、日本語力を伸ばしていくコース。自分の好きな内容を自由に勉強することができる。

⑥文化日本語講座 (A1-B2)

日本や日本語に興味を持っている人が、日本文化を体験しながら、簡単な日本語を学ぶ。1回完結型で1回から受講可能。

⑦しゃべりゅんく (A2-B2)

ハンガリーで日本語を学んでいる人と日本人が日本語でおしゃべりして交流する会。参加は無料で日本語話者ならだれでも参加可能。対面とオンラインで毎月交互に開催。

4. 沿革

- 1991 年 国際交流基金ブダペスト日本文化センター設立
- 1992 年 ハンガリー現地日本語教師に委託し、日本語講座を開始
- 2000 年 日本語上級専門家派遣開始
- 2004 年 国際交流基金ブダペスト日本文化センターが日本語講座の直接運営を始める
- 2005 年 日本語ジュニア専門家(現・日本語専門家)派遣開始、以降日本語専門家が日本講座担当主任となる
- 2008 年 JF 日本語教育スタンダード、CEFR に基づいた Can-do を取り入れ始める
- 2010 年 ポートフォリオ、タブレット、独自作成の漢字冊子(『漢字ステップ』)導入開始
- 2011 年 日本・ハンガリー協力フォーラム事業で作成された『できる1』使用開始

- 短期日本語コース及び、文化日本語コース開始
- 2012 年 『できる 2』使用開始、トピックコース開始
- 2013 年 日本語準備コース（入門）開始
- 2014 年 [『できる』の反転動画](#)使用開始
- 2018 年 自律学習コース開始
- 「みなと」まるごと教師サポート付きコース A1-1, A1-2 開講
- 2019 年 「みなと」まるごと教師サポート付きコース A2-1, A2-2 開講
- 2021 年 まるごと中級コース開始
- 「みなと」自習コース『DEKIRU A1』公開
- 2022 年 「みなと」自習コース『ようこそ！日本語と文化 A1』公開
- 「みなと」まるごと教師サポート付きコース A2-3 開講
- 2023 年 「みなと」まるごと教師サポート付きコース A2-4 開講

《参考資料》

- 相川弓映（2015）「国際交流基金ブダペスト日本文化センター日本語講座」『日本語教育連絡会議論文
集 Vol28』 pp. 186-187. <https://renrakukaigi.kenkenpa.net/ronbun28.html> 〈2023/3/10
アクセス〉

（2023 年 3 月現在）

JFBP 日本語講座 Facebook : <https://www.facebook.com/jf.nihongo.kouza>